

群馬県指定史跡 粕川町壇塚古墳

壇塚古墳はどんな古墳？

壇塚古墳は前橋市粕川町の月田古墳群の中央にあり、

えんぶん

6世紀後半に作られた**二段構成の円墳**です。周り

ふんきゆう

の堀を含めた直径は約40m、墳丘と呼ばれる山の部分の直径は25m、高さは4mあります。石室は

らんせきづ かたそでがたよこあなしきせきしつ

乱石積み片袖型横穴式石室です。全長は7.42m、最大幅は2.05m、高さは1.9mあります。

墳丘の全面が人の頭くらいの河原石を使った葺石で覆われ、石室の前に「渡り」（簡単な橋のようなもの）があったことです。墳丘部分からは家の形をし

きざい

た**家形埴輪**や祭りなどで使うものを表した**器材埴輪**が、石室入り口部分からは人の形をした**人物埴輪**、**馬形埴輪**なども出土しました。石室内か

とうす

てつぞく

らは**刀**や、**刀子**（ナイフのようなもの）、**鉄鏃**

じかん

ぎょくろい

（鉄製の矢じり）**耳環**（イヤリング）、**玉類**（宝石）が出土しました。



発掘当時の壇塚古墳



器材埴輪

現在の壇塚古墳は？

壇塚古墳は昭和25年、群馬大学の尾崎喜左雄研究室によって発掘調査が開始されてから、大きく変わることなく今まで残されています。さらに、墳丘を覆っていた葺石を木の根の間で見ることが出来ます。しかし、石室の入口が埋もれてしまいそうになっており土嚢を積んだり、崩落防止の鉄柱をつけたりされているため実際に訪れる場合には安全に注意しましょう！



発掘調査写真



二段構成の円墳